PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版 第35号
'98、10、1 発刊

Yeah!マスターNo32
～マスターの恐怖の巻～ 作 チーフ井上

拝啓 October

台風の雨と風の中 みんな一所懸命です。
傘と傘をよけ合いながら
すれ違う人達 くもり空を見上げながら でも前を歩く。
雨の銀座もいいもんです。

バーテンダー福本のミネラルウォーターのお話

今回はお酒ではなく「水」について。お酒を作るにも重要なだけでなく、2日酔の朝には、人生最悪の友になります。さてそこでミネラルウォーターについてですが、ミネラルウォーターと硬度なミネラル分(カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウム)などを含んだ水をさします。そして日本においては以下の4つに区分されます。

① ボトルドウォーター→飲用可能な水。水道水でもよく、処理方法に限定はない。
② ミネラルウォーター→地中でミネラル分が溶解した地下水。3過、滅菌、加熱殺菌の他オゾン殺菌、紫外線殺菌、ミネラル分調整、ブレンド等を行ったもの
③ ナチュラルウォーター→ミネラル分の溶解の少ない地下水。3過、沈澱、加熱殺菌以外の処理をしないもの
④ ナチュラルミネラルウォーター→地中でミネラル分が溶解した地下水。3過、沈澱、加熱殺菌以外の処理をしないもの

また、ミネラルウォーターの水質を表すのに、よく「硬度」を使いますが、硬度は次の計算式によって求められます。硬度＝(カルシウム量mg/l×2.5)＋(マグネシウム量mg/l×4)

そして硬度にも4つの分類があります。
① 軟水(硬度0～60mg/l) ② 中程度の軟水(硬度60～120mg/l)
③ 硬水(硬度120～180mg/l) ④ 非常な硬水(硬度180mg/l以上)

では皆様、お酒ともども お水とも末長く、良いおつきあいを！

ロッキートップかわら版では投稿大募集してます!! 右のような手紙でもいいし、提案等も含めてよろしくお願いします。カウンター内のチーフ井上か、マスターの方まで

ブルーグラスな人達 Meet The Bluegrass

ブルーグラスとの出会いを通してブルーグラスを考察するこのコーナー。今回は4半世紀に渡ってブルーグラスのベーシストをやっている生きた化石**中村周一さん**(48)です。こんなに温厚な人はめったにいないと思うのですが、なぜこんな人がハロンサムサウンドに？その辺について迫ってみた。

一歩間違えたらジャズやってた型

→最も古い音楽の思い出といえば4人乗りのブランコに乗りながら**「お富さん」**を歌う幼稚園の頃の自分だった。最初に買った楽器は**ウクレレ**。中学の時**加山雄三になりたかったハワイの若大将**にしびれた)高校(なんと開成高校)に入ると**モダンフォークブーム**になり中村さんも**ニューアンス**の1万円のギターを買ってもらい1人つま弾いて歌うようになるが、バンドをやるまでにはいたらなかった。高校の帰り道、友達と一緒にジャズ喫茶に行き**ビル・エバンス**などの**モダンジャズ**を聴いた。そしてちょっと煙草を吸い、ジンフィズを飲んだりした。**「ポール・ウィンターズ3」**というLPでベースを弾いている**レイ・ブラウン**に憧れて、大学に行ったらジャズのベースをやろう！と思ってた。(無理にベースをやらされたりしてない分、屈折度が少ない)しかし入った大学にジャズ研がなかった。仕方なく入ったサークルではジャズをやりたいと言ったのは女の子2人だけ。女とかジャズをやれるか！と最後のとりで**カントリー&ウェスタン研究会**に行ってみた。モダンフォークも好きだし**ウッドベースを弾けるからいいや！**となんとなく入ったのが運命の別れ道だった。もしジャズ研があったら今頃中村さんは新橋のスイングあたりに出てたかもしれない。はじめは**「ウィーピング・ウィロー」**などフォークっぽいのをやっていたのだが、だんだんテクが必要なブルーグラスへと入っていった。合宿では右手にできる水ぶくれに**針をさし**、水を抜いてまた1時間・2時間弾き続けるという荒行もこなした。そして大学3年になると**「サンライズ」**や**「ハートエイク」のソロ**をとるようになって、もうすっかり**ブルーグラッサーだった**。大学4年の時、日比谷音楽堂ホールで**ケンタッキーフライドチキン主催のコンテスト**があり中村さんも出演。以後スタッフとしてもそのコンサートに関わっていた。その時出会った他の大学の学生達が、現在のブルーグラス界幹部の面々であり、その後妻になる**フェロモンおすみさん**もその中にいた。そのような盛り上がりのない現在、あ、ブルーグラスは20年後はどうなっているんだろうと思いをめぐらしながら、中村さんの刻む2ビートをきくのであった。でも中村さんがジャズに行かなくて、本当に良かったと思います。

新人スタッフ紹介！

川合順子(22)です
ひかるちゃんの紹介で入りました。本人いわく箱入娘で～でございます」といった調は往年の黒木香をほうふつさせるていねいさだ。

ロッキートップのマドンナ？吉村ひかるちゃんの紹介でこのたびアルバイトとして働かせて頂くことになりました川合よりろでございます。現在はダンサーあるいは吟遊詩人を目指しクラシックバレエのレッスンに励んでおります。(But、ロッキーで働くようになってから深夜の食事のおかげで4kgも太ってしまいました…)バンドの演奏中、お客様のオーダーにも気づかず曲に合わせて怪しく踊っているのがわたくしでございます。今まで箱入りの人生を送ってきたゆえ、世間知らず。ましてお酒の名前などつゆ知らず…ジャックダニエルをブラックダニエルとかハイネケンをハイケネンなんて言ってしまったりシングル？ダブル？ショット？水割とロックの違いすら分からず、お客様には何度もメニューをきき返ししてしまうかもしれませんが、満面のスマイル！スマイル！でごまかして(?)頂きますので、どうぞ末永く見守って下さいませ。最後に私の愛すべき天才の歌人小野茂樹の1首"あの夏の数限りなき、孔てまたたった一つの長靴をせよ"そう私この夏失恋致しました。う…痛い痛い。冗舌は禁物では、このあたりで。

名物お客さん 和田野じいじ 孫からの手紙でおおはしゃぎ！

「かわら版のネタになるから」と渡されたお孫さんからの手紙。**和田野真利奈**ちゃん(小5)とっても嬉しいので、言われた通りのせることにします。「孫は俺に似て性格いいんだよ」とのことです。

じいじ

じいじ元気ですかまずは小さい頃からかわいがってくれてありがとう。
9月15日のけいろうの日おめでとう。じいじ体は弱いそうだからいつまでもきばってくれとおりなくらいの年齢までいきてほしいなあ。
ねえ、じいじ、この前そこのおばさんにいわれたけど、毎日じいじあっちこっちとかハンドボールとかいろいろおきてくんでもいいから、もっとつよくなってほしいなあ。
じいじ、ほんとうにいつまでもいきてほしいなあ。毎日のようにそこにすわっていてほしいなあ。
じいじ、ありがとう。
もっと、ねんねんまでいきてほしい。

真利奈

アメリカ南部物語 ～刑務所生まれのブルース～

20世紀に入るとブルースは現時点をまとめていった。セントルイスやシカゴの都市部では都会生活の苦しみを歌ったブルースが人気を集めたが、テキサス州東部では異なった発展があった。南部連合時代の奴隷制度の最後の名残とも言えるそこでは多数の黒人が奴隷として囲われていた。とりわけトリニティ川、ブレイズス川流域は肥沃な土壌に恵まれ綿花プランテーションの集中した地域として知られ、黒人労働者も集中していた。しかしこの地域をより世間に知らしめたのは悪名高い刑務所農園の存在である。そしてこの刑務所農園はまたテキサス東部のブルースの発祥の地でもあるのだ。刑務所出身のブルースミュージシャンとして有名なのはハラー・レッドベター(1889～1949)で独自の境地を開いたブルースシンガーだった。彼はルイジアナのアンゴラ刑務所に7年間服役する間にブルースに触れた。当時多くの黒人がそうだったように、レッドベターの祖父母はK.K.K.に殺害されていた。彼自身はしばしば幼少からの争いで、テキサスの刑務所に入れられては脱走をくり返すという生活を送り、監獄の中ではリーダー的存在だった。経験則を言い渡されていた彼にある日幸福の女神が微笑んだ。親子で民族研究に取組んでいた白人のジョン・ロマックスとアロン・ロマックスとの出会いが彼の命を救い新たな運命がひらき開かれるのだ。レッドベターは彼らの研究対象として特赦を受け出獄したのだ。そしてニューヨークでレコーディングすると、一挙にブルースシンガーとしての名を築いていった。"Good Night Irene"、"Midnight Special"などの名曲は彼が獄中で作った曲である。